



釧路森林資源活用円卓会議 くしろ木づなプロジェクト



釧路市中央図書館に地域材のテーブル・椅子など導入

～釧路建具家具生産協同組合ほか、力作が揃いました

【概要】

平成 30 年 2 月 3 日(土)、釧路市北大通 10 丁目の新釧路道銀ビルに「釧路市中央図書館」が OPEN しました。新図書館の OPEN にあたり、市生涯学習課と図書館からの依頼を受け、釧路森林資源活用円卓会議では構成員である釧路建具家具生産協同組合(大津理事長)、丸善木材(株)、釧路工業技術センターとの協働で「地域材を使った図書館用什器」を企画・製作しました。

- 什器種類 主に 4F 児童書コーナーに設置する什器、案内板 等
- 使用樹種 カラマツをはじめ、ナラ、タモ、セン、カツラ、イチイ、エンジュ、シナ、カバ
- デザイン 丸善木材(株)副社長 鈴木一浩氏 [アイアン併用チェア以外]
(株)マタギ 佐々木 賢氏 ・ 道総研_工業試験場 日高 青志氏
- 製 作 釧路建具家具生産協同組合、丸善木材(株)、wing-ウイング-



▲ここから以下のベンチたちが採用されました！

【実施内容】

「せっかく新しく図書館ができるなら、地元の木材を使ったイスやテーブルを導入し、市民をはじめ来館される皆様に見て・触れていただきたい。」…そんな関係者の情熱がカタチとなり、先日ついに利用開始されました。

ここでは、採用された什器の中から、いくつかご紹介します。

①各階ロビーでは、カラマツ集成材を削り出して作られた「ウェーブベンチ」が配置され、来館者をお出迎えしてくれます。座面は集成材を削ってウェーブを演出しており、脚部は集成材の木口が見えるように作られています。



ウェーブベンチ



おはなしテーブル



記載台

②「ビーンズテーブル」は、窪みの部分に読む人が座り、周りを取り囲むように子どもが座って、読み聞かせすることが出来るように設計されています。イベントなどの際には活躍してくれること間違いナシです。



ビーンズテーブル

③おはなしコーナーにおかれた「おはなしテーブル」は、非常に多くの地域材をあしらった引き出し付きで、とても可愛い仕上がりになっています。

ただし！この引き出し、実際に開けられるのは 1 つだけです。中に何が入っているかは、開けてみてのお楽しみ。

④児童書架横に置かれたチェアは、木づなプロジェクトでアイアン素材とのコラボを試行したもので、座面と背板はカラマツ集成材、骨格は市内アイアン家具事業者の wing 五十嵐氏とコラボして配色や強度計算等、試行錯誤の末、完成しました。



アイアン併用チェア

ぜひ、これら什器の数々に触れていただき、願わくば「くしろの木で作られたイス・テーブルなんだ」等、思いを馳せていただくきっかけになればと思います。

※チェアの背板には、アメリカの小説家 スティーブン・キングさんの言葉
“Books are a uniquely portable magic.”
「本は持ち歩くのに最適な魔法だ」を彫刻。



書架横に各色 1 脚づつ置かれています

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、平成 17 年に 3 市町合併により、森林面積が約 10 万 ha (全道の市で 1 位) に。まさに釧路市は「森林都市」。
「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を平成 22 年 11 月に設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室

(担当) 勢濱

TEL : 0154-31-4550

FAX : 0154-22-8972



釧路市役所森林・地域材利活用サイト



くしろ木づなプロジェクト FB